

カミノトピックス

癒し、癒され・・・

今回、今年で20年を迎える『フローラルセラピー・花遊び』をご紹介します。

代表の高橋悦子様に立ち上げた経緯をお伺いいたしました。

平成3年に太極拳教室で知り合った仲間4人でスタートしたそうです。

「今、私達に出来る事で周りの人達に喜んでもらえる事は無いだろうかといういろいろ考え、特技の華道を活かし心のこもった手作りの創作花教室とボランティア活動を併せ活動を始め、設立後はもっと良い方法があるのでは無いかと思ひ悩み、福祉レクリエーションワーカーの勉強を始めたところ、そのテキストの中で、原宿での『フラワーセラピー研究会』を知り、これだ！と直ぐに東京へ。何回かの課程を経てセラピスト認定(現在 NPO法人フラワーセラピー研究会)を受けました。認定後は『フローラルセラピー・花遊び』として教室を運営し、更にボランティア活動しながら教室や会員の皆様と共に活動の輪を広げています。

又、ボランティア活動には援助的人間関係が優先課題である事に気付き、カウンセリングの学習を続けていると考えさせられる事があります。

- 人と人が関係を持つ事によって行動の変化(今までしなかった事をするようになる)
- 思考の変化(今まで考えなかった事を考えるようになる)
- 感情の変化(今までとは違う感じ方が出来る)

起きる事を学び実感する事が出来たとの感想です。

ボランティア活動も定期的に市内の特別養護老人施設や中学校にも出向き活動を続けています。

最終的に人は一人では生きられません・・・思いやりのある仲間、友達、家族が私達の周りを輪になって重なることが重要である事を日々感じています。」

今回の東日本大震災でも、また日々の生活の中でも自分が周りの人達に支えられている事は痛感しております。

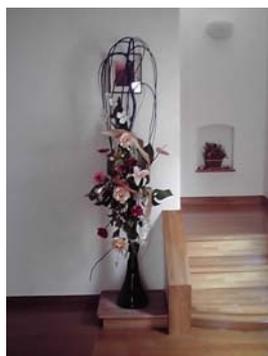
華で見る事飾る事で心を感じ、人とふれあうことで多くを学ぶことができる。

これからも多くの方々を華々しく豊かにしてくれることでしょう。

(談：奥山)



高橋宅玄関前の
オシャレな看板です



玄関の扉を開けると
正面に綺麗な手作りの
創作花がお出迎え



普段見慣れない
ワイルドフラワー



布と粘土で作成された花たちです



4月になると真新しいランドセルの1年生の登下校が
始まります。

ドライバーの皆さん、交通安全お願いします。



今回、恵庭市にある『若林鉄工 株式会社』様をご紹介します。

業務内容について、社長の若林広樹さんにお話を伺いました。

「戦後間もない昭和22年に創業し、半世紀以上の歴史があります。

農機具・溶接・製罐を主に行っていましたが、時代の移り変わりとともに、仕事の内容も変化しました。

機械加工・設計の部門を設立し、恵庭市内を中心に近隣市町の生産工場の搬送コンベアーやアルミ・鉄などの溶接加工、一般産業機械の製造・修理も行っており、ベルトを回転させるシャフトからねじ締めボルトまで、大小さまざまな形状の製品を製作しています。製品の品質や材料を変えるために部品の形状を変更もしています。

最近では、菓子パンなどの焼き目を付ける型も作製しています。」

鉄工業はあまり身近で使うことはないかもしれませんが、私たちの生活する中で重要な商品を作る裏方の役目を担っています。

日々私たちの周りには若林鉄工様で作られた部品を使った工場できているかもしれませんよ。

今、あなたが食べようとしているパンも若林鉄工様で作られた焼印が押されているのでは・・・。

(談：Eyes・高島)



CADで設計を行っている若林社長



溶接作業風景

この度の東北地方太平洋沖地震で被害を受けられた皆様に、謹んでお見舞い申し上げます。被災地の一日も早い復興を心よりお祈り申し上げます。

株式会社カミノ 社員一同

取引していますメーカー、問屋の東北、関東地区倉庫も被害を受け、またシステムの不具合や交通路の確保ができず、お客様よりご注文いただいた商品が納期とおりにお届けが出来ず、大変ご迷惑をおかけしております事に、心よりお詫び申し上げます。

まだ以前のように回復はしておりませんが、メーカー、問屋の皆さんの努力のおかげで少しずつ戻りつつあります。また、電池類など一部の商品の供給が難しい状態になっております。当社も関係各位を相談しながら状況改善に努めておりますが、今しばらくこの状態は続くと思われれます。

事情をご推察いただき、ご理解のほどお願い申し上げます。

あるメーカーの東北営業所では、地震の大きな揺れに逃げるのが精いっぱい事務所内は手を付けられない程に散乱し、外勤の営業マンとは連絡が取れず、この時ほど文明は進んでいるとは言え、自然にはやはり勝てないなと思ったそうです。

当社も前号で防災について記載したばかりで、とても複雑な気持ちになりました。テレビなどの報道を見るたびに胸が痛くなり、幸い被災してない私たちは、今やらなければいけない事を十分に把握して行動していかなくてはと思います。

関東の一部の地区では計画停電が行われておりますが、私たちの地区は関係ないからではなく、地球環境についてばかりではなく、常日頃よりの努力が大事な時に役立ち、助けられるものと考えなければいけないかもしれませんね。

戦後最大といわれるこの大災害に、みんなが心ひとつで乗り越えていかなければいけない。

被災された方々、また復興支援の皆さんのご健康をお祈りいたします。

私たちも、少しでも皆さんの力になれることを考えて行きます。

がんばろう！
日本！

2011年 3月 31日 VOL. 69

発行元：(株)カミノ

TEL：0123-23-4255 / FAX：0123-24-1381

e-mail：kamino@rose.ocn.ne.jp